



3. すべての人に健康と福祉を

4. 質の高い教育をみんなに



サンファンにある病院で内視鏡検診を行う西沢さん(中央)。

移住地の将来を考えて

私は日系2世としてボリビアのサンファンという土地で生まれ育った。日本人移住者の入植地として1955年に建設が始まったこの町にはこれまで総計1685人の日本人が入植し、日本人街を形成してきた。しかし、現在では国内の他の地域から移り住むボリビア人が増え、日系人の人口は相対的に減少。高齢化も進み、日系人の15パーセント以上が70歳を超えた1世の人たちだ。

地元の将来を考えた時、私たちにボリビア人としての命を授けてくれ、そしてこの社会で生きる土台を作ってくれた先輩方の健康維持は何よりも大事であると考えている。そのため移住地で、胃・大腸がん早期発見のための消化管内視鏡検診を20年近くにわたり行ってきた。

また、日本人を受け入れてくれたボリビア人のみなさまと、ともに助け合う社会を築いてゆくことも大切だ。優秀でありながら経済的に困っている学生が教育の機会を得られるよう、私は国内外にいるサンファン出身者十数名と「サンファン基金」を創設し、大学進学のための奨学金を毎年支給し続けている。

高齢者への恩返しと、そして将来のボリビアと日本の共同発展のために若者たちの教育を支援するのが、私たちの大事な任務だと考えている。

今月の投稿(文・写真) 西沢英樹さん
消化器外科医。JICAボリビア事務所顧問医。ボリビアで学士号を取得後、日本の大学で修士号を取得。日系人としての誇りと職業的使命感を胸に、ボリビアと日本の未来を見据えて活動中。

あなたの投稿をお待ちしています!

「わたしが見つけたSDGs」に写真をお寄せください。貧困や格差、気候変動ほか、いま世界が直面している課題に取り組む人々の姿など、SDGsの17の目標を身近に感じられる作品をお寄せください。

応募要項: 写真1点(ご自身が撮影されたもの)、文字原稿400字以内。
*写真内の被写体に関する肖像権およびその他の権利は、投稿者の責任において、被写体の承諾を得るなど必要な措置をとったうえでご応募ください。

ご応募・お問い合わせ先 ▶ ML_JICAPR@jica.go.jp (「mundi」編集部宛)



SDGsとは

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)は「誰一人取り残さない」をスローガンに、格差や貧困、環境破壊など、世界が直面している問題の根本的な解決を目指す、17分野の国際目標。

持続可能な開発目標(SDGs)とJICAの取り組み
URL: <https://www.jica.go.jp/aboutoda/sdgs/>